

九州産業大学大学院

KYUSHU SANGYO UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL



令和2年度 研究成果発表会

作品名：社会問題を扱った映像作品 「Dependence」の制作

A video of the social problems, the work of the Dependence.

博士前期課程

芸術研究科 造形表現専攻 デザイン領域

松下佳聖

主査 伊藤高志
副査 黒岩俊哉
井上貢一

研究背景

背景としては、私自身が日常生活をしていくなかで、社会に対して疑問や不満を感じているということがある。

街中で見かける迷惑行為のほとんどが問題になっているということを調べてから気付いたものもいくつかあった。テレビ番組などでよく耳にする言葉や特集も社会問題として扱われていることが分かった。このことから社会問題についての映像制作を行うことで、少しでも自分が身近な問題に対して考えることができると思ったからだ。

作品概要

「転売」「買占め」「お金」に依存して生活をしている若者を描いているので「Dependence（依存症）」というタイトルにした。人間は何かに依存してしまうことがある。作品の中での役者の行動も依存症の一つであると思った。行為に集中して、周りを見ることができず依存していき大切な物を失っている若者を描いた。

この作品では、謎のウイルスが蔓延した状況で非常食の「カンパン」が世界中で求められるが、品薄になると予測した若者二人が「買占め」と「転売」をする、というストーリーになっている。この作品の背景での人間の欲望は、「お金」。

お金の依存よりもカンパンに対する依存の変化について皮肉している。

研究概要：作品画像1



カンパンを手にする



カンパンの転売準備



カンパンの箱詰め



箱詰め作業



転売を行う



転売禁止される

研究概要：作品画像2



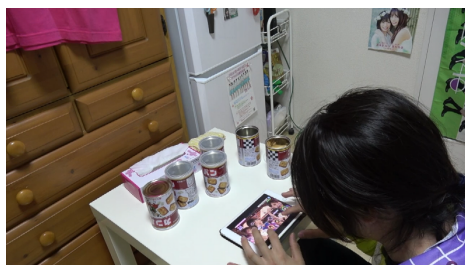
財布からお金を盗む



盗みがバレて喧嘩



家から追い出す



引きこもり生活



部屋からカンパンが
無くなる



栄養失調で倒れる

成果・まとめ

今回の撮影では、カメラを二台使用して行った。カット割りを決め撮影を行ったのでスムーズにできた。撮影に必要な材料をどのように作品の中で活かすことができるのかを考えるのが大変だった。また部屋が狭いので試行錯誤しながら撮影を行った。

社会問題は、常に新たな問題が出てきており、解決するにはかなりの時間がかかってしまう。

指導教員コメント

世の中の様々な社会問題から「買占め」と「転売」という問題をチョイスし、人間の果てしない欲望のあり方を皮肉を込めて戯画的に描いた短編映画である。若い男二人の金銭への執着が転売を繰り返すことでエスカレートしていくが、次第に転売商品の乾パンに執着して行ってしまうという逆転が皮肉が効いて面白い。

伊藤高志